

令和7年度 福井県立高志高等学校 スクール・ポリシー

スクール・ミッション【本校が果たすべき使命】

- 探究的な学びと創造的な思考を育む教育を一層充実させるとともに、生徒の知的好奇心や主体性を伸ばす教育を推進し、夢や希望の実現に向けて挑戦する生徒を支援する。
- SSH【先導的改革型】としての取組を推進し、未来の地域社会や国際社会の創り手となるに相応しい資質・能力を有する科学技術人材・グローバル人材を育成する。
- 高志中学校からの内部進学生と高校からの入学生の切磋琢磨や協働・共創を促進し、県内唯一の公立併設型中高一貫校としての強みを生かした教育の一層の充実を図る。

校訓

克己 創造 敬愛

グラデュエーション・ポリシー【卒業までに身につけてほしい資質・能力】

未来の地域社会および国際社会の創り手として貢献できる人となるよう、以下の資質・能力を身につけることを目指します。

<資質>

- ①自分と向き合い、成長するための努力を続けようとする姿勢
- ②困難な中でも肯定的側面を見つけて自分を高めようとする姿勢
- ③新しい価値や文化を生み出そうとする姿勢
- ④真理の探究、社会問題の解決に挑み続けようとする姿勢
- ⑤他者と協働して、社会が抱える問題を解決しようとする姿勢
- ⑥多様性を理解し、文化の発展、世界の平和に貢献しようとする姿勢

<能力>

- ①内省力・自己調整力
- ②忍耐力・回復力
- ③論理的思考力・創造的思考力
- ④情報活用能力・問題解決能力
- ⑤協働力・交渉力
- ⑥傾聴力・対話力

カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

1 教育課程の編成方針

- (1)大学進学を前提にした教育を展開するため、全クラスを普通科系専門学科とし、理数・英語に関する専門教科、探究活動に係る教科を適切に設置します。
- (2)必修教科・科目や選択科目、学校設定科目を適切に配置した「進学型単位制教育課程」を編成します。
- (3)自らの興味・関心や卒業後の進路希望、これまでの学習履歴等に応じて、生徒が学習する教科・科目を選ぶことができるように、多様な選択科目や学校設定科目を開設します。
- (4)理数創造科では、理数に関する教科において多くの専門科目や学校設定科目を配置するとともに、柔軟な科目選択を可能にします。
- (5)人文創造科では、人文に関する教科において多くの専門科目や学校設定科目を配置するとともに、柔軟な科目選択を可能にします。
- (6)総合的な探究の時間(SSHに係る学校設定科目「K_oA」)や各教科・科目の授業、特別活動(学校行事等)や部活動等の教育課程外の活動を有機的に関係づけて、教育活動をデザインします。

2 教育課程の実施方針等

- (1)教科指導にあつては、「主体的・対話的で深い学び」を実現するとともに、各教科の特質に応じた見方・考え方を鍛えます。
- (2)教育DXを推進し、基本的な知識および技能の確実な習得を図るとともに、課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育みます。
- (3)各教科の連携を充実することに加えて、大学や企業、研究機関、同窓会等、外部の教育資源との連携を積極的に進めます。
- (4)教育課程内の取組はもとより、学校行事、部活動等との連携にも配慮して、学校教育の全体を通じて、校訓および教育方針に即した資質・能力の育成に努めます。

3 クラスの編成方針

- (1)1年次においては、高志中学校からの内部進学生(内進生)と高校からの入学生(高入生)が混合するクラスを編成します。ただし、教科によっては、学習進度別の講座を編成して授業を行います。
- (2)2年生においては、理数創造科・人文創造科の学科別にクラスを編成することを基本とします。内進生・高入生の混合クラスは、1年次より継続して行います。授業は、学習進度別および選択科目別の講座を編成して行います。
- (3)3年生においては、2年次の編成方針に加えて、進路志望に応じた類型(a・b・c)別にクラスを編成します。

アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- (1)自分で見つけた課題を解決するために信念をもって粘り強くやりぬこうとする生徒
- (2)真実をつきとめたり、新しい価値や文化を生み出したりしようとする生徒
- (3)多様な考え方を理解し、他者と協働して行動しようとする生徒